

# 森林管理総合情報整備提供事業（継続）

## 1 趣 旨

地球温暖化防止等の森林の有する多面的機能の高度発揮を図るためには、複層林施業の普及や緊急的な間伐の実施等により、多様で健全な森林整備を着実に進める必要がある。

しかしながら、林産物収入の減少や採算性の悪化等により林業生産活動が停滞していることから、地域の実情に応じた森林施業や林業経営に係る知識と技術の広範な普及を通じ森林所有者の施業意欲を喚起することが必要である。

こうした課題に対応するため、

- ① 新林業技術の情報収集・普及
- ② 間伐等の森林整備に係るコストの縮減

を図る取組に重点的に支援し、情報システムの整備や効率的間伐推進のための支援ソフトの開発による林業技術情報の普及・定着を図ることにより、森林の有する多面的機能の高度発揮に必要な知識と技術を備えた人材の育成を通じて、多様で健全な森林整備を推進する。

## 2 事業内容

### (1) 情報提供システムの整備

各地域において試験研究機関等で開発された新たな林業技術の普及・実用化を図るためのデータベースの検討・開発及び新普及ネット検索システムの一本化及び整備

### (2) 間伐支援ソフト用データの収集

団地・流域単位で、森林の林地条件と人員、機械、路網の配置条件から間伐のコストシミュレーションを行い、低コストで効率的な間伐を支援するとともに、間伐に伴って発生する未利用材や土場残材の活用を支援するソフトの開発のためのデータ収集

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 3 事業実施主体 | (1) (社) 全国林業改良普及協会 |
|          | (2) (社) 林業機械化協会    |

4 補助率 定 額

5 事業実施期間 平成15年度～19年度

6 平成18年度概算決定額 51,474千円(57,193千円)

(林野庁研究・保全課)